

## 平成25年度 予算を可決

平成25年第1回定例会は、2月15日から3月27日までの41日間にわたって開会されました。

今定例会では、平成25年度一般会計予算及び3特別会計予算について審議が行われたほか、区長提出議案34件を可決、議員提出議案は、6件を可決しました。

皆さんから提出された請願・陳情は、3件を採択、4件を不採択、3件を閉会中の継続審査としました。



予算特別委員会の様子

### 可決した意見書等(要旨)

「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく施策の早期実現を求める意見書

昨年、「東京電力原子力事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律」が全会一致で可決、成立した。国会議員自ら被災者の声に耳を傾け、超党派で成立にこぎつけたことは、事故後2年を経過し、将来に不安を抱く被災者にとって希望の灯となった。

この法律の理念・枠組みを具体化すべく、国が支援対象地域の範囲、支援施策の内容、自治体との連携、予算措置などに取組むことが必要である。

豊島区議会は、政府に対し、次の事項について要望する。

1 原発事故子ども・被災者支援法に基づく施策の早期実現に向けて、基本方針を速やかに定め、予算措置を講じて、各種の施策を早期に具体化すること、地方自治体が行う関連施策に対しても国が支援すること。

(内閣総理・財務・文部科学・厚生労働・国土交通・環境・復興大臣あて)

軽度外傷性脳損傷に関わる労災障害等級認定基準の見直しと教育機関への啓発・周知を求める意見書

「軽度外傷性脳損傷」は、交通事故や高所からの転落・転倒、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受け、脳内の情報伝達を担う神経線維が断裂するなど

して、発症する病気である。この病気で苦しむ患者の救済のため、次の事項について強く要望する。

1 他覚的な神経学的検査によって、「軽度外傷性脳損傷」と診断され働けない場合、労災障害年金が支給できるようにするため、「労災障害等級認定基準の見直し」をすること。

2 文部科学省を通じ、「軽度外傷性脳損傷」についての教育機関への啓発・周知を図ること。(衆・参議院議長、内閣総理・文部科学・厚生労働大臣あて)

インターネットによる選挙運動を解禁する公職選挙法の改正の早期実現を要望する意見書

今国会で議論されている、インターネットを利用した選挙運動を解禁する公職選挙法改正案では、ホームページ、電子メール、ブログ、ソーシャルネットワーク、ワーキングサービス(SNS)などの更新及びこれらを使っての投票を呼び掛けることを可能としている。

インターネット時代に即した選挙活動への道が拓かれることは歓迎すべきところではあるが、運用についての問題点も指摘されている。

よって、豊島区議会は国会及び政府に対し、これらの問題点への対策を適切に講じた上で、インターネット時代に即した選挙活動への道を切り拓くことを強く求める。

1 インターネットを利用した選挙運動を解禁する公職選挙法改正を速やかに進めること。  
2 インターネットを利用した選挙運動に際し、誹謗中傷、なりすまし対策等に万全を期すこ

と。(衆・参議院議長、内閣総理・総務大臣あて)  
北朝鮮の核実験に抗議するとともに、核開発の即時停止を求める決議

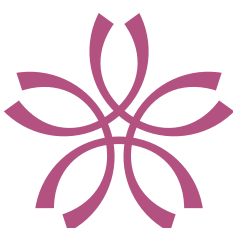
北朝鮮は、2月12日、「地下核実験を成功裏に実施した」と発表した。この度の北朝鮮の地下核実験に厳重に抗議するとともに、すべての核開発を即時停止するよう強く求め、ここに決議する。

米国の核性能実験に抗議

米国がニューメキシコ州サンディア国立研究所において、昨年10月から12月にかけて、新型核性能実験を2回実施したことに対し、3月21日、米大統領に対して要請書を送付しました。

シンボルマークを採択

豊島区制施行80周年を節目に、今後もさらに区民とともに躍進する区の姿を内外に広く訴えるための象徴とするシンボルマークを採択しました。



シンボルマーク

### 主な掲載内容

- 議案等の審議結果一覧 ..... 2面
- 区政のここが聞きたい  
～一般質問(要旨)～ ..... 3～6面
- 常任委員会Q&A  
予算特別委員会 ..... 7～8面